

## 評価結果

日付	H28年3月18日	評価対象者	栗林 澄夫
評価	適		
評価内容	<p>●所信表明等で示された内容の達成状況に基づく業績評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・任期1年目にして所信表明等で示された項目すべてに着手できている。4年の在任期間中に一つでも多くの項目を達成していただけるよう期待したい。</li><li>・達成された項目の中で「教職大学院の設置」、「教職大学院の入学料・授業料の免除枠の措置」及び「附属学校の専任校長の拡大の検討に関する一定の結論」がとりわけ評価できる。またその他の達成項目も加えると全23項目中16項目が達成されている。</li><li>・近年本学を取り巻く状況は刻々と変化し、困難な状況に直面してきている。このような状況に全学的に一丸となって対応するためにも、学内での情報共有をいっそう推進していただきたい。</li></ul> <p>●国立大学法人評価委員会の評価に基づく業績評価</p> <p>年度計画の記載9事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められており、評定では「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と位置付けられている。</p> <p>●総評</p> <p>上記状況を踏まえると、学長の大学運営は順調に進んでいると考えられるので評価を「適」とする。</p>		